

# クレメンス・ハーゲン

## Clemens Hagen (Cello)

6歳からチェロを始め、2年後にザルツブルク・モーツァルテウム音楽院においてウィルフリード・タケツィおよびハインリッヒ・シフのもとで研鑽を積み始めた。若い演奏家のためのコンクールで数々の賞を獲得したほか、カール・ベーム賞、ヘンリク・シェリング賞、ウィーン・フィルハーモニー賞という栄えある3つの賞を受賞している。

ハーゲン弦楽四重奏団の創立メンバーでもあり、ギドン・クレーメルの主催するクレメラータ・ムジカ (KUREMERATA MUSICA) には定期的に出演している他、1997年にはギドン・クレーメルと仲間達とともに、6回に亘るシューベルトの室内楽曲の連続演奏会を欧州各地の主要都市において開催した。また、アルゲリッチ、クレーメル、ワイセンベルク、A・シフ、ツィメルマン、内田光子など錚々たる演奏家とも室内楽を共演している。彼等とともに、室内楽とその奏者の特質に迫る多彩な音楽的試みを行い、刺激に満ちたやりがいのある世界に身を投じてきたことは、クレメンス・ハーゲンのソリストとしての活動にも大きく寄与している。

オーケストラとの共演も多く、1995年夏のザルツブルク音楽祭では、ニコラウス・アーノンクール指揮ヨーロッパ室内管弦楽団と共にシューマンのチェロ協奏曲を演奏、以降音楽祭の常連となっている。また、ダニエル・ハーディングやクラウディオ・アドバの指揮でベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と度々共演、さらにギドン・クレーメルとともにソリストとしてアーノンクール指揮ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団と共演、この時のブラームスのヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲はライブ録音されている。

2009年にはアーノンクール指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団と共演。この成功により2010年、ウェルザー・メスト指揮ウィーン・フィルと再共演を果たした。

2011年はイギリス、ドイツ、スイス、そしてザルツブルク音楽祭で内田光子、スタインバーク、ヴァイドマンと共演。またオーストリアではエレヌ・グリモー、エマニュエル・パユと室内楽で共演。今後、ウィーン室内管、ウィーン・トーンキュンストラー管、ゲルシュタイン、ブラッハーとの室内楽公演などが予定されている。

CD録音も多数あるが、ピアノのエマール、ヴァイオリンのツェートマイヤーと共にニコラウス・アーノンクール指揮、ヨーロッパ室内管弦楽団のソリストとして、ベートーヴェンのピアノ、ヴァイオリンとチェロのための三重奏曲をワーナーよりリリースしている。

1989年からはザルツブルク・モーツァルテウム音楽院においてチェロと室内楽を教えている。愛用のチェロは1698年製アントニオ・ストラディヴァリウス。

\*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

## Clemens Hagen (Cello)

Clemens Hagen, born in 1966, started playing the cello at an early age. He studied at the Mozarteum and with Heinrich Schiff at the Basel Musikhochschule. Mr. Hagen won two prizes awarded by the Vienna Philharmonic, the prize for musicians under the age of 19 and the Karl Böhm Prize. As soloist he has toured throughout Europe and has appeared with such orchestras as the Vienna Philharmonic Orchestra under Nikolaus Harnoncourt, and Franz Welser-Möst, Vienna Symphony, the Deutsche Kammerphilharmonie, the English Chamber Orchestra, the Camerata Salzburg and the NHK Symphony. He has also performed as soloist with the Berlin Philharmonic under Claudio Abbado, including one of the orchestra's Carnegie Hall concerts in November 1996. He regularly appears at Lockenhaus and the Schubertiade in Austria. He has joined his sister Veronika and Gidon Kremer at London's Wigmore Hall for the festival "Schnittke: A Celebration," and has toured with Mr. Kremer's chamber ensemble (Kremerata Musica). His recital collaborators include H el ene Grimaud, Elisabeth Leonskaja, Stefan Vladar, Oleg Maisenberg and Olli Mustonen. Since 1989 Clemens Hagen has held a professorship at the Mozarteum.

2015/16 season only. Please contact Japan Arts if you wish to edit this biography.